

平成 29 年 9 月 7 日  
午後 3 時 30 分から  
区役所 1205 A 会議室

## 平成 29 年度 第 2 回足立区環境審議会資料

### < 報 告 事 項 >

- |        |                                 |     |   |
|--------|---------------------------------|-----|---|
| 報告事項 1 | 第三次足立区環境基本計画の指標の 2016 年度の状況について | ・・・ | 1 |
| 報告事項 2 | 平成 28 年度の区施設におけるエネルギー使用量等について   | ・・・ | 3 |
| 報告事項 3 | 平成 29 年度環境基金助成交付団体の決定について       | ・・・ | 6 |

平成 29 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	第三次足立区環境基本計画の指標の 2016 年度の状況について				
所管部課	環境部環境政策課				
	<p>第三次足立区環境基本計画は、施策群ごとに 14 個の指標を定めており、この指標の数値で施策の進捗状況を点検・評価する。計画期間は 2017 年度からであるが、今後の参考とするため、2016 年度の数値を調査したので報告する。</p>				
	施策群	指標(単位)	2015 年度	2016 年度	2024 年度目標
	<b>1 地球温暖化・エネルギー対策</b>				
	1-1 エネルギーの効率的な利用	省エネルギーを心がけている人の割合(%)	54.6	51.3	70.0
	1-2 低炭素なエネルギーの利用拡大	区内の再生可能エネルギーの導入容量(累計)(kW)	31,788	33,818	36,000
	1-3 CO2 吸収量の増大と気候変動の影響への適応	熱中症で搬送される患者数(人)	314	197	160
	<b>地球温暖化対策計画で定める CO2 削減目標</b>				
	区内のCO <sub>2</sub> 排出量(t) (それぞれ2年前の2013年度、2014年度の数値)		255.8万	242.7万	197万
	<b>2 循環型社会の構築</b>				
	2-1 廃棄物減量の推進	1人1日あたりの家庭ごみ排出量(g)	561.1	549.9	470.0
	2-2 持続可能な資源利用への転換	資源化率(%)	19.7	19.5	27.0
	2-3 廃棄物の適正処理	区内のごみ量(t)	181,248	179,700	158,400

施策群	指標（単位）	2015 年度	2016 年度	2024年 度目標
<b>3 安全・安心で快適なくらしの確保</b>				
3-1 生活環境の保全と公害対策の推進	工場等に対する公害苦情相談件数(件)	305	315	232
3-2 快適で美しいまちづくり	地域で自主的に美化活動をしている団体数(団体)	248	254	400
<b>4 自然環境・生物多様性の保全</b>				
4-1 自然や生物とふれあう機会の提供	生物とふれあう事業の参加者数(人)	300,508	307,651	330,600
4-2 生物多様性への理解と取組みの推進	区民参加型の生物調査の参加者数(人)	40	40	200
4-3 多様な生物が暮らす自然環境の保全と創出	樹木被覆率(%)	8.3	8.3	8.7
<b>5 学びと行動のしくみづくり</b>				
5-1 環境情報の発信と環境意識の向上	環境に配慮した製品を選んで使う人の割合(%)	15.3	12.0	20.0
5-2 環境学習の推進と人材育成	環境学習プログラムに参加し、修了した人の数(累計)(人)	193	414	2,000
5-3 環境保全活動の拡大	エコ活動ネットワーク足立(EANA)の登録団体が実施した自主的な環境保全活動数(回)		未実施	250回

平成 29 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件 名	平成 28 年度の区施設におけるエネルギー使用量等について																																							
所管部課	環境部環境政策課																																							
事業(結果)の概要	<p>平成 28 年度の区施設におけるエネルギー使用量等について、足立区公共施設地球温暖化対策推進実行計画(以下「実行計画」という。)の目標に対する実績がまとまったのでその概要を報告する。</p>																																							
	<p><b>1 対象施設</b>                  本庁舎、区民事務所、住区センター、生涯学習・スポーツ施設、福祉事務所、保健総合センター、小中学校、保育園、区道の街路灯など</p>																																							
	<p><b>2 平成 28 年度エネルギー使用量・ごみ量</b></p>																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実行計画の 平成 28 年度目標</th> <th>平成 28 年度の結果 (平成 22 年度比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量</td> <td>平成 22 年度比 15%</td> <td>13.7% 66,880,527 kWh</td> </tr> <tr> <td>都市ガス使用量</td> <td>平成 22 年度比 15%</td> <td>17.1% 3,000,903m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>ごみ量</td> <td>平成 22 年度比 5%</td> <td>8.0% 2,370 トン</td> </tr> </tbody> </table>		実行計画の 平成 28 年度目標	平成 28 年度の結果 (平成 22 年度比)	電気使用量	平成 22 年度比 15%	13.7% 66,880,527 kWh	都市ガス使用量	平成 22 年度比 15%	17.1% 3,000,903m <sup>3</sup>	ごみ量	平成 22 年度比 5%	8.0% 2,370 トン																											
	実行計画の 平成 28 年度目標	平成 28 年度の結果 (平成 22 年度比)																																						
電気使用量	平成 22 年度比 15%	13.7% 66,880,527 kWh																																						
都市ガス使用量	平成 22 年度比 15%	17.1% 3,000,903m <sup>3</sup>																																						
ごみ量	平成 22 年度比 5%	8.0% 2,370 トン																																						
<p><b>3 経年比較</b></p>																																								
<p>(指数) 平成22年度を100とした場合の区施設のエネルギー使用量・ごみ量</p> <table border="1"> <caption>経年比較のデータ (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>電気使用量 (%)</th> <th>都市ガス使用量 (%)</th> <th>ごみ量 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>99</td><td>99</td><td>104</td></tr> <tr><td>21</td><td>98</td><td>93</td><td>106</td></tr> <tr><td>22</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>23</td><td>89</td><td>94</td><td>102</td></tr> <tr><td>24</td><td>91</td><td>91</td><td>101</td></tr> <tr><td>25</td><td>92</td><td>93</td><td>103</td></tr> <tr><td>26</td><td>89</td><td>87</td><td>98</td></tr> <tr><td>27</td><td>88</td><td>84</td><td>96</td></tr> <tr><td>28</td><td>86.5</td><td>83</td><td>92</td></tr> </tbody> </table>	年度	電気使用量 (%)	都市ガス使用量 (%)	ごみ量 (%)	20	99	99	104	21	98	93	106	22	100	100	100	23	89	94	102	24	91	91	101	25	92	93	103	26	89	87	98	27	88	84	96	28	86.5	83	92
年度	電気使用量 (%)	都市ガス使用量 (%)	ごみ量 (%)																																					
20	99	99	104																																					
21	98	93	106																																					
22	100	100	100																																					
23	89	94	102																																					
24	91	91	101																																					
25	92	93	103																																					
26	89	87	98																																					
27	88	84	96																																					
28	86.5	83	92																																					

(1)電気使用量

平成 23 年度に震災直後の節電の徹底と一部施設の休止もあって大きく減少した。平成 24、25 年度は増加したが、平成 26 年度から減少傾向にある。平成 28 年度は、前年度比 2.6%、震災前の平成 22 年度比 13.7%となったが、目標には届かなかった。

(2)都市ガス使用量

平成 23 年度に大きく減少、さらに平成 26 年度からも減少傾向にある。平成 28 年度は、前年度比 1.1%、平成 22 年度比 17.1%となり、目標を達成した。

(3)ごみ量

平成 22 年度から 25 年度まで横ばいで推移してきたが、平成 26 年度から 3 年連続で減少した。平成 28 年度は、前年度比 4.0%、平成 22 年度比 8.0%となり、目標を達成した。

4 新計画に基づく削減目標

今年度から第三次足立区環境基本計画を踏まえて改正した実行計画の計画期間となった。実行計画では、CO<sub>2</sub>排出量とごみ量の削減目標を定め、目標を達成するためのエネルギー使用量削減目安を以下のように定めている。

【削減目標】 (単位：t)

年度	基準年 2013	2016 (基準年比)	2024 目標 (基準年比)	2030 目標 (基準年比)
CO <sub>2</sub> 排出量	37,040	33,482 9.6%	27,780 25%	24,076 35%
ごみ量	2,649	2,370 10.5%	2,251 15%	

【削減目標を達成するためのエネルギー使用量の削減目安】

年度	基準年 2013	2016 (基準年比)	2024 目標 (基準年比)	2030 目標 (基準年比)
電気 (単位:kWh)	71,221,317	66,880,527 6.1%	55,552,000 22%	51,991,000 27%
都市ガス (単位:m <sup>3</sup> )	3,382,775	3,000,903 11.3%	2,198,800 35%	1,928,100 43%

## 平成 29 年度第 2 回足立区環境審議会資料

件名	平成 29 年度環境基金助成交付団体の決定について				
所管部課	環境部環境政策課				
事業(結果)の概要	<p>高環境の実現を目指す活動を支援する環境基金助成について、環境基金審査会の審査を経て、平成 29 年度の交付団体を決定したので報告する。</p> <p><b>1 経過</b></p> <p>4 月 あだち広報 4 月 10 日号、足立区ホームページに掲載し募集開始  5 月 31 日 募集締め切り 5 団体が申請  7 月 7 日 環境基金審査会で 5 団体の審査</p> <p><b>2 環境基金審査会の審査結果</b></p> <p>各団体のプレゼンテーションを踏まえ、9 人の審査会委員が 10 項目を評価し、得点率 70%以上の 1 団体を助成金交付団体に決定した。審査会における各団体の評価は、7 ページのとおりである。</p>				
		申請者名	活動名 ----- 活動の概要	得点率	交付 予定額
		特定非営利活動法人エコロジ-夢企画	綾瀬川のアユ遡上調査とエコ夢探検隊 ----- 綾瀬川の稚アユの遡上・産卵状況の調査と、親子で綾瀬川を知るイベントの開催	71.8%	100 万円
		大学 A	破棄食品ゼロを目指した食品 3D プリンタの開発 ----- おいしい見た目と食感を作り出す食品 3D プリンタを開発し、食べ残しを減らして将来的に食品廃棄ゼロを目指す研究	49.8%	
		大学 B	地震により破損した RC 柱の補修による復旧効果について ----- 地震で損傷したコンクリート建物にコンクリート系材料を吹き付ける補修工法の実験と、その実験結果についての区民向け公開講座の開催	50.7%	

申請者名	活動名	得点率	交付 予定額
	活動の概要		
事業者C	骨材分級設備導入による環境負荷の低減及び循環型工場の推進	54.4%	
	生コン工場の設備を更新し、戻りコンクリートの自社処理量を増やすことでミキサー車の走行回数を減らし、CO <sub>2</sub> 排出削減と大気汚染の防止につなげる		
事業者D	創エネと省エネを組み合わせた高環境のものづくりの実現	54.0%	
	プラスチック加工工場のエネルギー使用量を減らすため、照明のLED化、屋根への断熱塗料の塗布、太陽光発電設備の設置を実施する		

### 3 助成金の交付及び実績報告

今回決定した金額は上限額であり、活動終了後に提出される実績報告書を審査の上、交付予定額の範囲内で活動に要した金額を助成する。

## 平成29年度足立区環境基金審査会 評価結果(集計表)

各項目5点×9人×10項目 450点満点 網掛け部分は採択基準の7割以上の得点 部門別の評価は申請した部門により評価項目が異なる

評価項目		エコロジー 夢企画	大学A	大学B	事業者C	事業者D	
基本 項目	活動目的 活動目的が高環境の実現である	35	22	23	26	28	
	活動内容 高環境実現のために妥当な活動内容である	33	22	23	23	28	
	先導性 内容に独自性があり、波及効果が期待できる	33	26	22	21	19	
	効果・貢献 区民や区に対する環境保全の効果・貢献が期待できる	33	20	23	22	22	
	態度・意欲 書類や質疑応答が丁寧で活動への熱意を感じる	33	28	28	29	27	
	公的資金 活動に公的資金を投入する妥当性がある	33	19	22	18	18	
活動 内容	具体性 活動が具体的で計画的なスケジュールになっている	29	21	24	28	29	
	経費の精査 経費の根拠が明確で必要最小限の経費になっている	29	23	23	26	24	
部 門 別 の 評 価	区民・事業者等と の連携部門	連携相手が妥当で相手の特徴が生かされている	32	—	—	—	—
		更なる連携や協働に発展し、高環境への貢献が期待できる	33	—	—	—	—
	先進性部門	環境分野における先進的な技術開発や研究である	—	22	—	—	—
		将来的に環境問題の解決につながることを期待できる	—	21	—	—	—
	公益的 活動部門	活動内容が環境分野において広く社会に貢献する	—	—	20	—	—
		地域や区民等の環境意識を高め、行動を促す効果が期待できる	—	—	20	—	—
	環境負荷の 低減部門	環境負荷低減効果の根拠や算定方法が適切である	—	—	—	27	23
		申請書どおり環境負荷低減の具体的効果が期待できる	—	—	—	25	25
合計		323	224	228	245	243	
得点率		71.8%	49.8%	50.7%	54.4%	54.0%	